



武生国際音楽祭 2024

ピアノ公開レッスン 受講生募集



武生国際音楽祭 2024 では、当音楽祭のコンセプトである「ひとづくり」の一環として若手ピアニストの育成および地域の音楽文化の向上のために、ピアノ公開レッスンを開催します。

講師は日本を代表するピアニストであり、当音楽祭のコンサートプロデューサーを務める伊藤恵（東京藝術大学教授）です。音楽の道を志望する方だけでなく、表現力のレベルアップを図りたい方、暮らしのなかでピアノ演奏をこよなく愛する方々のための、当音楽祭ならではの特別レッスンです。ふるってご応募ください。

■募集要項■

開催日時：2024年8月31日（土）13:00～16:00

会場：福井県越前市高瀬 2 丁目 3-3 越前市文化センター・小ホール

募集人数：学生の部および一般の部、ともに若干名

応募資格：受講にふさわしい能力または演奏に対する熱意や目的意識のある方。

居住地や年齢は問いません。18歳以下の方の申し込みには保護者の承諾が必要です。

小学生以下の方の参加には保護者の同伴が必要です。

受講料：20,000円（消費税込み）

特典として音楽祭のパスポート（通し入場券）を進呈します。

受講内容：1人30分程度のマンツーマンレッスンです。

受講を希望する曲は3曲までエントリーできますが当日のレッスン状況により全ての曲をカバーできない場合があります。

レッスンは聴講料1,000円でどなたでもお聞きいただけます。

応募方法：受講申込書に必要事項をご記入のうえ電子メール、郵送、ファクス、直接持参、いずれかの方法でご応募ください。応募書類はご返却できません。

ご応募の際、提出いただいた個人情報は当音楽祭のプライバシーポリシーのもとに適切に管理し、目的以外のことに使用することはありません。

選考方法：所定の受講申込書による審査のみとし、音源審査はありません。

応募締切：2024年5月31日（金）必着

受講申込先：〒915-0832 福井県越前市高瀬 2 丁目 3-3 越前市文化センター内

武生国際音楽祭推進会議事務局 TEL：0778（23）5057 FAX：0778（21）1975

E-mail info@takefu-imf.com

発表：選考結果は6月中旬をめどに応募者本人（応募者が18歳未満の場合は保護者）に直ちに通知します。電話での照会や選考結果に関するお問い合わせにはお答えできません。あらかじめご了承ください



講師：伊藤 恵

(ピアニスト、武生国際音楽祭コンサートプロデューサー)

桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学（オーストリア）、ハノーファー音楽大学（ドイツ）で名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。エピナール国際コンクール、J. S. バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールなど数々のコンクールに入賞。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初の優勝。W・サバリッシュ指揮バイエルン州立管との共演によりミュンヘンでデビューを飾った後、ミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響（現 hr 響）、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。国内ではNHK交響楽団をはじめ、数々のオーケストラと共演を重ねている。室内楽やアンサンブルの分野でも活発な活動を展開する一方、一人の作曲家に焦点を絞った連続リサイタルにも力を入れ、1999年～2006年はシューマン、2008年～2015年はシューベルト、2018年からはベートーヴェンを中心としたシリーズを開始し、注目を集めている。

また演奏家としてもうひとつの柱である録音活動では、2007年「シューマニアーナ・シリーズ 1～13」を完成。13のタイトルからなるこのCDは、20年がかりでシューマンのソロ・ピアノ作品全曲を収録するという画期的なレコーディングであるだけに各方面から高い評価を得、完成記念リサイタルも開催された。2008年にリリースを開始した「シューベルト・ピアノ作品集 1～6」は1作ごとに注目を集め、掉尾を飾る第6集は15年度レコード・アカデミー賞及び第70回文化庁芸術祭賞優秀賞に輝いた。2018年にリリースされた「ベートーヴェン・ピアノ作品集 1」、続く「同作品集 2」はいずれもレコード芸術特選盤を獲得した。またわが国を代表するピアニストの一人として各地の音楽祭に意欲的に参加し、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、武生国際音楽祭、軽井沢音楽祭、リゾナーレ音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに出演。放送メディアへの出演も多数を数える。1993年日本ショパン協会賞受賞。2018年ジュネーヴ国際音楽コンクール審査員。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。武生国際音楽祭ではコンサートプロデューサーを務める。



©武藤章